

## 小学生のユニバーサルデザイン学習

深谷小学校の3年生は、『「見つめよう わたしたちのまち」 いろいろな人の立場になって考えよう』というテーマで、平成18年度2学期の総合的な学習の時間に取り組みました。

最初の時間には、市職員が学校に行き、まごころ出張講座としてユニバーサルデザインの基本的な考え方や深谷市の取り組みについて説明しました。その後、子どもたちは市役所、駅、城址公園などを見学したり、また、自分たちの興味・関心に基づき、外国人、耳・目の不自由な人、お年寄りなど、さまざまな立場の人の観点から、わたしたちのまちの問題点や評価すべき点を発見しました。最後の時間には、保護者や学習に協力してくれたボランティアのかたなど大勢の前で、学習成果を発表し、深谷市がより一層ユニバーサルデザインのまちづくりを進めていくためのポイントを指摘しました。

子どもたちの学習成果そのものも大変素晴らしいものでしたが、何よりも他の人の立場に立って物事を探求する姿勢が大変優れていました。

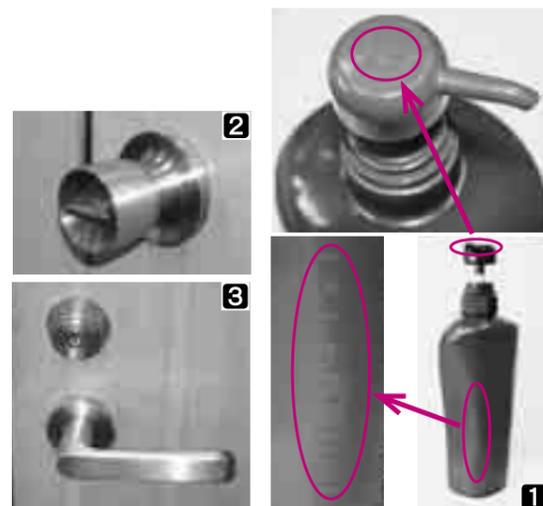


深谷小学校 関根 千鶴子 先生

深谷小学校の3年生では、相手の立場に立って考え、思いやりの心で接することのできる「心のユニバーサルデザイン」を目指し、このテーマを設定しました。

子どもたちは、深谷市で推進しているユニバーサルデザインについて調べ、さらに深めるために6つの課題別グループに分かれ、施設見学や体験学習、そして福祉ボランティアのかたがたからお話をお伺いし、学習を進めてきました。

この学習を通して、生活をする中でたくさんのユニバーサルデザインがあることに気付き、自分中心に物事を考えていた子どもたちも周りの人々に目を向け、「どの人も同じように生活できるように工夫しているんだな」「困っている人を見掛けたら手助けしよう」という思いが持てるようになりました。



**深** 谷市では、このようなユニバーサルデザインの考え方を尊重し、さまざまな取り

### 深谷市の取り組み事例

の目に見えないものまでを設計・計画しようとする考え方は、高齢者や障害者など特定の人だけを対象とするものではなく、自分を含めたあらゆる人に優しくあろうとする考え方なのです。

組みを行ってききました。

第1は、小・中学校トイレのユニバーサルデザイン化です。成長期の児童・生徒は、体格もまちまちです。背の大きい子もいれば、小さい子もいます。誰にとっても使いやすい洗面台にするため、高さの異なる洗面台を併設しました。また、車いす利用者も使えるように、洗面台下には収納を設けず、足の入るスペースを確保しました(4)。



# Universal Design

特集

## ユニバーサルデザインのまちづくり



深谷小学校でのユニバーサルデザインの学習風景

### まちづくりの基本姿勢は、まごころと思いやり それをかたちにするのがユニバーサルデザイン!!

### ユニバーサルデザインってなに?

**シ** ャンプーとリンスのボトルはよく似ています。頭を洗っていると、目を開けられず、なかなか区別がつかえません。しかし、シャンプーのボトルには、上の部分と横の部分にギザギザが付いていることを知っていれば、目を開けなくても両者の区別がつかます(次ページ①)。もちろん、目の不自由な人も、触って区別することができます。

**ド** アノブにはいろいろな形のものがあります。丸い形で握って回すタイプのもの(2)だと、両手がふさがっている時などは、ドアを開けるのがとても大変です。しかし、ハンドルタイプのもの(3)なら、たとえ両手がふさがっていても、ひじなどを使ってドアを開けることができます。手先がけがしていたり、握力の弱い人などでも、ドアが開けやすいように配慮されています。

このように、ユニバーサルデザインは、一部の人だけでなく、誰もが使いやすいや快適さを感じることができるよう、あらかじめ製品や施設などの目に見えるものから、サービスやシステムなど

## ユニバーサルデザイン 講演会 & 出張講座

### ♥ ユニバーサルデザイン講演会 ♥

市では、ユニバーサルデザインを広く市民の皆さんに知っていただくため、ユニバーサルデザイン講演会を開催します。

今年度の講師は、(株)ユーディット代表取締役社長の関根千佳さんで、「なぜ深谷にユニバーサルデザインが必要か?」というテーマで、初心者の人にも分かりやすく、ご自身の経験を交えながらお話しくださいます。

なお、本特集でも取り上げた、深谷小学校の児童と先生による学習成果の発表も併せて行います。ぜひお気軽にご参加ください。

参加者には、もれなくユニバーサルデザイングッズを差し上げます

とき 2月20日 午後1時30分開場、午後2時開演

ところ 深谷生涯学習センター・深谷公民館大会議室

参加料・定員 無料・200人

申し込み 不要

その他 手話通訳、託児を行います。託児をご希望のかたは、2月14日までに政策推進課にお申し込みください

問い合わせ 政策推進課 (574 - 8096)へ

### ♥ まごころ出張講座 ♥

まごころ出張講座とは、市が市政に関する講座メニューを用意し、市民の皆さんのご要望に応じて市職員が指定の場所に出張し、講座を実施するものです。講座メニューの1つとして、ユニバーサルデザインについての講座を実施し、市のユニバーサルデザインの取り組みについて紹介しています。

開催時間 午前9時～午後8時30分までの1時間30分以内(祝日・年末年始を除く)

申し込み 講座を開催しようとする日の1か月前までに、申込書を秘書室へ提出  
問い合わせ 秘書室 (574 - 6631)へ

し、それらを解消するための方針や方策について検討しました。検討結果に基づき具体的には、JR深谷駅構内にエレベーターを設置したり、歩道の整備などを進めています。なお、歩道と車道の交差部分には、通常2cmの段差がありますが、これは視覚障害者には、歩道と車道を区別するために必要であり、車いすやベビーカー利用者にとってはバリアとなるものです。そこで、深谷市では段差ありと段差なしの両方を併設する「深谷方式」を考案し、採用しています。

## はじめは 母の愛にあふれる 1通の手紙だった...

「あと1年しかない学校生活を、自立を目指せるようにしてやりたい親の願いとして聞いてください」。熊谷養護学校に通う子を持つ母からの1通の手紙が市長あてに届きました。

手紙の内容は、「車いすを利用するわが子が自立を目指し、自宅から熊谷養護学校まで一人で通学をしたいのだけれども、学校の最寄り駅である明戸駅に

### 秩父鉄道明戸駅の バリアフリー化

スロープが設置されていないため、一人での通学ができません。どうか市でもお力添えください」というものでした。

そこで市では、早速手紙の内容を秩父鉄道に話したところ、秩父鉄道側も事情を快く了解。今月中には明戸駅にスロープが完成する予定です。

今回の取り組みは、これから続く熊谷養護学校の下級生のためにも大きな成果であり、深谷市がまた一歩ユニバーサルデザインのまちに近づいたといえるでしょう。

第3は、城址公園のユニバーサルデザイン化です。城址公園の名にちなみ、以前は公園内にお堀が張り巡らされ、段差も多い公園でした。小さい子からお年寄りまで多くの人が集まる場所ですから、ここもユニバーサルデザインの考え方で改修を行うことにしました。まず、水飲

第2は、市役所本庁舎のユニバーサルデザイン化です。赤ちゃんを抱きながら申請書に記入するのは、なかなか大変です。そこで、ベビーカーチャージャー(6)という赤ちゃんを自分のそばに置いて書類の記入ができる器具を、カウンターに設置しています。また、筆談が可能であることを示す案内表示(6)もカウンターに置いてあります。耳が不自由な方も、この案内表示を指してくださいれば、職員と筆談でコミュニケーションを取ることができます。さらに、車いす利用者、赤ちゃん連れの人、男性・女性、妊婦、お年寄りの人など、誰もが使いやすいように設計されたユニバーサルトイレ(7)も設置しています。



第4は、交通バリアフリー基本構想の策定です。これは、JR深谷駅周辺を誰もが円滑に移動できるようにするための構想で、平成15年3月に策定しました。策定に当たっては、高齢者や身体障害者を含む市民で構成する市民バリアフリー検討会を組織し、実際にまちの中を歩いて、移動のバリアとなる箇所を確認

みですが、車いす利用者のかたも利用できるように、足の入るスペースのあるものを設置しました(8)。また、小さい子から大人まで誰もが座りやすいように、座面の高さを選んで座れるベンチも設置しました(9)。さらに、車いす利用者も、花に触れ、香りを楽しむことができよう、花の植えてある位置を高くし、テーブル状にした「レイズドベッド花壇」を設置しました(10)。ただ誰でも使えればよいというだけでなく、心の癒やしに通ずる部分まで、等しくサービスを提供しようと努める点が、深谷市におけるユニバーサルデザインの一つの特性であるといえるでしょう。